

わんわんパトロール隊

2018年は成年です。
市内で、オレンジ色のパトロールバンダナをキリリと巻いた犬を見かけたことはありませんか。彼らは散歩の時間に地域を見守る「わんわんパトロール隊」の一員です。正義感があり優しい犬と飼い主が、春日井市に笑顔を増やしています。



愛犬家の思いが結実した
オレンジ色のパトロールバンダナ



代表 堀由美子さん 小麦くん
(オーストラリアン・ラブラドル)

訪問介護士でアニマルセラピスト、2人の子を育ててあげた母でもある堀さん。小麦くんをはじめ、飼育している5頭の犬は全てセラピードッグ。普段は訪問介護の仕事をしているので、時にはセラピードッグと共に介護施設などを訪問する活動もしています。



副代表 向井香里さん りんちゃん
(ジャックラッセルテリア)

向井さんは勝川商店街にある犬グッズのハンドメイドショップ「わんこの幸せバンダナ」のオーナー。「わんわんパトロール隊」の立ち上げメンバーの一人です。以前から「大きな犬と立っていたら防犯になるかも」と考え、ゼットンくんと一緒に小学生を見守ってきました。



山内綾野さん ゼットンくん
(スタンダードプードル)

3児の母で、「SOLEIL (太陽)」というドッグラン付きのエステサロンを経営するアクティブな山内さん。「わんわんパトロール隊」の立ち上げメンバーの一人です。以前から「大きな犬と立っていたら防犯になるかも」と考え、ゼットンくんと一緒に小学生を見守ってきました。

「わんわんパトロール隊」は、2016年8月に結成。出陣式は春日井警察署で行われました。主な活動は、愛犬にオレンジ色のパトロールバンダナをつけて散歩をすること。散歩の時間に、子どもたちの登下校や地域の様子を見守ります。

これまで、代表の堀由美子さんは「近所の人と話す機会が減って、地域の人間関係が希薄になっていく。子どもたちが目が行き届いていないのでは」と感じていました。そこで「犬の散歩を利用して、子ども達の登下校を見守ることができれば」と考え、時間があるときに通学路に立ち寄るようになりました。

「普段、見知らぬ人とすれ違っても、挨拶をすることはあまりありません。でも犬の散歩中だと、自然と会釈したり話が弾んで、顔見知りが増えますよね。そんな犬が持つ力を使って、無理なく地域の関係性を深めていけなかつた考えで結成された「地域子ども応援団」の山本さんと滝さんから声をかけられて、一緒に交差点に立つようになりました。

でも、活動がすぐに受け入れられただけではありません。「はじめのうちは、子どもたちにおはよう！と声をかけても知らんぷり。なん

だ、この人と犬は？という感じの反応でした。」

知らない大人に声をかけられても、応えない方が安全だと教えられる昨今。それに加えて「犬は怖いから苦手」という子もいます。それでも堀さんは笑顔で交差点に立ち続けました。

見守りを続ける中で、「怪しい人ではないことがわかる、目印になるものが必要」と感じたという堀さん。そこで、愛犬仲間間で3児のママでもある山内綾野さんにアイデアを相談します。自身も小学生の子どもの安全のため、散歩の時間を下校時に合わせていた山内さんは、大賛成。さらに2人と親交があった「わんこの幸せバンダナ」オーナーの向井香里さんに声をかけると、「ぜひ作らせて！」と賛同を受け、制作がスタート。オレンジ色のパトロールバンダナが誕生しました。パトロールバンダナは、隊員である愛犬の名前入りで反射材付き。わんわんパトロール隊への入隊希望者が各自購入するシステムで、売り上げの一部は熊本県の被災地へ寄付されています。

春日井警察に
表彰されました



愛犬の名前が入られる
パトロールバンダナ。
売り上げの一部はJSKを通じて
熊本県の被災地へ寄付されます。



誰でもどこでも始められる！
愛犬と自分の地域をパトロール

2017年9月には、ボランティア団体として登録されたわんわんパトロール隊。現在約130名の飼い主と愛犬が在籍しています。

時には、春日井警察署や春日井防犯協会などのイベントやコラボ活動のために、参加できる隊員が集まることもあります。基本的には活動場所や時間に制限がないのところが、「誰でもどこでも、隊員として活動することができます。市内だけでなく、県外のメンバーもいますよ。愛犬にパトロールバンダナをつけて、地域でお散歩するだけです」と堀さん。集まりが苦手な人や犬もいるし、仕事をしている人もいますから、散歩の強制や強要はありません。「それでも、犬の散歩は毎

日のことなので、この時間でお役に立てるならと、皆さんから喜ばれています」と話します。

愛犬がパトロールバンダナを付けることで、飼い主の心境にも変化があったそう。「犬を飼うにはマナーも大事。自分たちが姿勢を正すのはもちろん、マナー違反の飼い主さんを見かけた時、パトロールバンダナがあることで、アドバースしやすくなりました」と山内さん。向井さんは「ご近所の隊員同士と一緒に散歩をしたり、時々イベントなどで集合したりすることで、愛犬家の輪が広がりました。他の犬が苦手だった愛犬が慣れたので、隊員になって良かったという飼い主さんもいます」と話します。



子ども達を見守りながら
犬とのふれ合い方も伝えたい

当初は堀さんが個人で始めた見守り活動も、今や4年目に。現在もパトロールバンダナをつけた小麦くん、毎週水曜日の登校時間に、「中央通2」の交差点に立っています。

「当時保育園児だった子も小学生に。最初は犬が怖いと言っていた子が、今ではいつも小麦の姿を探しています。それに、高学年の子が新1年生に、『小麦はいいけど、ほかの犬には急に触っちゃダメだよ』と伝えていたのがうれしかったですね」と堀さん。見守り活動を通して、堀さんは子ども達に犬とのふれ合い方も伝えたいと考えています。「犬に追いかけられたり、噛まれたりしてトラウマになる子もいますが、もしかしたら防げたこ

ともかもしれません。犬の周りで走ったり、大きな声を出したら驚かせてしまったり、触る時は下の方から優しく触らなければ。そんな、ワンコと仲良くする方法を教えたいと思っています。」

わんわんパトロール隊の活動が、地域の人と犬の絆もつないでいます。

「見知らぬ人がいた、標識が曲がっているなど、いつもの散歩で小さな変化に気づくことが、防犯につながります。愛犬家の方は、ぜひ一緒にパトロールしましょう」とこやかに話す堀さん。愛らしく頼もしいわんわんパトロール隊が、2018年も地域社会を見守ります！



パトロール風景

個人でも、誰かと一緒にでも、パトロール方法は自由です。パトロールバンダナをつけてパトロールしていると、他の隊員が集まってくることもあるそう。パトロール中、危険な場所や不審者を発見したら、地域の交番へ連絡を。緊急性がある場合は110番します。

12月のイベント参加

12月1日には春日井市役所にて
年末特別警戒出陣式に、
12月9日には藤山台小学校での
防災の集いに参加しました。

わんわんパトロール隊のお申し込みは

090-5612-8697 (代表 堀さん) または
080-5106-0355 (副代表 向井さん)

メールでのお問い合わせは
happywandana@gmail.com

わんわんパトロール隊の活動に関しては
「LOVEマイタウンかすがい」からも
チェックできます
http://kasugai.love-mytown.com

LOVEマイタウンかすがい 検索

